

八重洲ブックセンター本店で 電気炉製鋼がテーマの写真展開催！

北越メタル株式会社（本社：新潟県長岡市、社長：棚橋章、以下「北越メタル」）は2021年10月1日から八重洲ブックセンター本店（東京都中央区）で開催される写真展『鉄に生きる～サステナブルメタル電気炉製鋼の世界～』に展示用写真パネルを提供します。

写真集制作にかける思い

本写真展は、国内外で活躍されている気鋭の写真家、山崎エリナ氏の最新写真集『鉄に生きる～サステナブルメタル電気炉製鋼の世界～』の刊行を記念して開催されます。

同写真集の制作にあたり、日本の基幹産業を支える製鉄業界について、とりわけ、鉄のリサイクルによって新たな鉄鋼製品を生み出す電気炉製鋼について、より多くの方々に広く知ってもらいたいという思いから、北越メタルでは撮影協力および写真解説文などの執筆協力をしてきました。

持続可能な鉄、永遠の循環を担う電気炉製鋼

普段、目にする機会は多くありませんが、建築構造物や土木構造物、産業用機械など社会のいたるところで「鉄」が使われています。電気炉製鋼とは、社会の中で一定の役割を終えた「鉄（スクラップ）」を回収し、それらを原料に再び鉄鋼製品をつくる製鋼方式で、主に地域で発生する鉄スクラップを地域に還元する地産地消型の製鋼方式といえます。

天然資源の少ない日本ですが、実は「鉄」に関しては輸出国（※鉄スクラップとして）です。それだけ都市に眠る「鉄」が多いことを示している一方、貴重な資源である「鉄」が海外に流出しているともいえます。

カーボンニュートラルへの取り組み、永遠の循環を担う鉄スクラップの日本国内での更なる有効利用など、持続可能な社会の実現に向けて、電気炉製鋼が果たす役割は、今後ますます高まっています。

スクラップにいのちを吹き込む、炎の現場を描く

さまざまな不純物が混じった鉄スクラップを扱う電気炉製鋼は、経験と勘、高い技術力が求められます。

捨てればゴミとなる鉄スクラップが技術者たちの手によって、いのちを吹き返していくさまと、その過程で見せるダイナミックな電気炉製鋼の世界を、そして、山崎氏が切り取る芸術的な側面、空気感、ひとの情感が織りなす美しい世界をぜひ会場でご堪能ください。



写真家 山崎エリナさんの情報はこちら

<http://www.yamasakielina.com>



© Elina Yamazaki

写真展の概要

- ・会場 八重洲ブックセンター本店4階
エスカレーター横ギャラリー
(東京都中央区八重洲2-5-1
東京駅八重洲南口向かい) 入場無料
- ・期間 2021年10月1日(金)~10月31日(日)